

◆チケット料金

セット券(全3回):S席 19,200円/A席 16,500円/B席 13,800円
 単独券:S席 7,000円/A席 6,000円/B席 5,000円

◆お申込み・お問合せ:横浜能楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2

電話 045-263-3055(9:00~18:00)

Web <https://yokohama-nohgakudou.org/>

◆チケット発売(初日は電話・Webのみ)

セット券/単独券:令和5年2月11日[土・祝]正午から

◆友の会先行発売

セット券/単独券:令和5年2月2日[木]~2月5日[日]

※セット券の販売枚数には限りがございます。



横浜能楽堂特別展
甦る江戸の美意識

—「大原御幸」の能装束—

令和5年5月3日[水・祝]~7月17日[月・祝]

会場:横浜能楽堂 二階展示廊

開館時間:午前9時~午後6時(入館は午後5時半まで)

休館日:5月8日[月]・15日[月] | 6月5日[月]・12日[月]

7月3日[月]・10日[月]

※開館日・開館時間は変更になる場合があります。詳細はお問い合わせ下さい。
 ※本舞台有料公演時はチケットをお持ちの方のみご入場いただけます。

江戸中期に完成された能装束は、武家の精神性と美意識の結晶と言っても過言ではありません。山口能装束研究所の山口憲所長は、長年、能装束の研究を続け、文様から技法・素材に至るまで緻密な復元に挑戦してきました。企画公演「この人 この一曲」第1回では、「大原御幸」が上演され、シテだけでなくその他の役にいたるまで、自身が復元した能装束が使用されます。本展ではその装束を心ゆくまでご覧いただけます。

企画公演「この人 この一曲」第3回 能「松山天狗」字幕解説サービスのご案内

能楽鑑賞多言語字幕システム「能サボ」による字幕解説がございます。舞台の進行に合わせて、お手持のスマートフォン・タブレットに分かりやすく解説が表示されます。機器をお持ちでない方には、端末(スマートフォンタイプ)の貸出もございます。

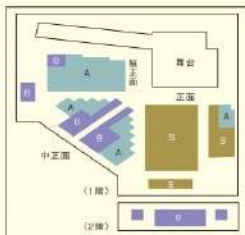
【無料・要予約・限定20台】

※対応言語:日本語・英語 ※すべての席でご利用いただけます。※端末貸出をご希望の方は、チケットお申し込みの際にお知らせください(電話・窓口のみ)。

※能サボは借書店が提供する能の多言語字幕サービスです。



主催:横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)



横浜能楽堂

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2 電話:045-263-3055(9:00~18:00)

電車 ▶ JR根岸線「桜木町」駅下車北改札・西口より徒歩12分

市営地下鉄「桜木町」駅下車南1出口徒歩12分

みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩20分

京浜東北線「日ノ出町」駅下車徒歩15分 ※タクシー利用は各駅とも約50分

バス ▶ 戸部1丁目(市営バス103、292系統)下車徒歩5分

紅葉坂(市営バスR、26、58、101、105、106系統・神奈中バス横43、横44、

港61系統・京急バス110系統)下車徒歩9分

※詳細は「能楽鑑賞」をご覧ください。ご来館の際は、ご来館の案内に必ずご確認ください。

※公演日・公演時間に変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。

※本公演の中止・延期等については、本館のホームページにてお知らせいたします。

※本公演の中止・延期等については、本館のホームページにてお知らせいたします。



「私が選んだ訳」
 山口憲 能楽研究所長 聞き手 葛西聖司

能 大原御幸
 「金春流」 本田光洋

第1回 令和5年
 4月30日[日] 午後2時開演
 午後1時開演



「私が選んだ訳」
 馬場あき子 歌人 聞き手 葛西聖司

能 一人静
 「喜多流」 佐々木多門

第2回 令和5年
 6月25日[日] 午後2時開演
 午後1時開演

この人
 この一曲



「私が選んだ訳」
 西野春雄 能楽研究所長 聞き手 葛西聖司

能 松山天狗
 「観世流」 片山九郎右衛門

第3回 令和5年
 7月16日[日] 午後2時開演
 午後1時開演

横浜能楽堂
 企画公演

この人この一曲

今日の能は、能楽師だけでなく研究者や能作者など様々な専門家に支えられています。彼ら専門家はどのような視点で能を見て、能と関わっているのでしょうか。本公演では、横浜能楽堂とゆかりが深い3人の専門家に、今一番見たいと思う「演者」と「曲」を選んでもらいました。当日は、その曲を上演するとともに、選んだ理由を横浜能楽堂の公演・講座でもおなじみのアナウンサー・葛西聖司がたっぷりお聞きします。

第1回

能 大原御幸

【金春流】 本田光洋

令和5年 4月30日 [日] 午後2時開演

横浜能楽堂でも多くの能装束を展示してきた、能装束研究の第一人者・山口憲が選んだのは「大原御幸」。大原・寂光院を訪れた後白河法皇に、建礼門院が平家一門最期の有様を語ります。今回は、作品に最も相応しい装束を本田光洋とともに選定。シテだけでなく、その他の役にいたるまで、自身が復元した装束を使用して上演します。



能「大原御幸」(金春流) 撮影:北川清一郎

「私が選んだ訳」 山口 憲(能装束研究者) 聞き手:葛西 聖司

能「大原御幸」(金春流)

シテ(建礼門院)	本田 光洋	
ツレ(後白河法皇)	櫻間 金記	
ツレ(大納言の扇)	山中 一馬	
ツレ(阿波の内侍)	辻井 八郎	
ワキ(萬里小路中納言)	福王 茂十郎	
ワキ(大臣)	福王 知登	
ワキツレ(奥昇)	喜多 雅人	
ワキツレ(奥昇)	矢野 昌平	
アイ(大臣の従者)	中村 修一	
笛	松田 弘之	
小鼓	観世新九郎	
大鼓	國川 純	
後見	金春 安明 横山 紳一	
	本田 芳樹	
地謡	高橋 忍 山井 綱雄	
	金春 憲和 井上 貴覚	
	本田布山樹 中村 昌弘	
	政本 哲司 荻野 将盛	



本田光洋
ほんだみつひろ
シテ方金春流。1942年本田秀男の長男として生まれる。父及び金春信高に師事。全国各地で多数の公演に出演するほか、海外で演技指導を行うなど、内外で能楽の普及につとめる。1976年文化庁芸術祭優秀賞受賞。2013年旭日双光章受章。重要無形文化財総合認定保持者。



山口憲
やまぐちけん
能装束研究者。1968年より江戸開能装束の調査研究開始。1984年山口能装束研究所設立。能装束修復や復元を行い、それらの展覧会を国内外で多数手がける。2004年外務大臣表彰受賞。著書に「能装束の世界」など多数。

第2回

能 二人静

【喜多流】 佐々木多門

令和5年 6月25日 [日] 午後2時開演

横浜能楽堂の様々な公演で解説・講演を行い、その明快な語り口にファンも多い歌人の馬場あき子が選んだのは「二人静」。吉野山での義経と静御前の別れを静の霊と、静の霊に憑りつかれた菜摘女、二人の静が語り舞います。当日は作品の魅力、能の魅力もたっぷりお話しいただきます。



能「二人静」(喜多流) 撮影:村上直貴

「私が選んだ訳」 馬場あき子(歌人) 聞き手:葛西 聖司

能「二人静」(喜多流)

シテ(静の霊)	佐々木多門	
ツレ(菜摘女)	大島 輝久	
ワキ(勝手神社の神職)	大日方 寛	
アイ(従者)	野村拳之介	
笛	一噌 隆之	
小鼓	飯田 清一	
大鼓	佃 良太郎	
後見	塩津 哲生 狩野 了一	
地謡	出雲 康雅 長島 茂	
	内田 成信 金子敬一郎	
	友枝 真也 塩津 圭介	
	佐藤 寛泰 谷 友矩	



佐々木多門
ささきたもん
シテ方喜多流。1972年生まれ。佐々木宗生の長男。喜多流宗家内弟子を経て現在、龜津哲生に師事。ゆかりのある中尊寺・白山神社能舞台での公演をはじめ東北の能楽振興にも力を入れる。重要無形文化財総合認定保持者。



馬場あき子
ばばあきこ
歌人。歌誌「かりん」主宰。古典、とりわけ能への造詣が深く、新作能「弟子 みだれ髪」「御田王」などを発表。著書に「能・よみがえる情念」等多数。02年日本芸術院賞受賞はか多数受賞。94年芸術院賞受賞。2019年文化功労者。日本芸術院会員。

第3回

能 松山天狗

【観世流】 片山九郎右衛門

令和5年 7月16日 [日] 午後2時開演

これまで多くの能の復曲・新作に関わり、横浜能楽堂でも「仲光」「大典」の作品演出見直しに関わってきた西野春雄が選んだのは、自身が観世流での復曲時に能本作成に携わった「松山天狗」。保元の乱で敗れ、讃岐・松山の地で崩御した崇徳上皇の霊の怒りを描いた能を、演出にさらに検討を加えて上演します。



能「松山天狗」(観世流) 撮影:渡辺真由

「私が選んだ訳」 西野 春雄(能楽研究者) 聞き手:葛西 聖司

能「松山天狗」(観世流)

シテ(老翁・崇徳上皇の霊)	片山九郎右衛門	
ツレ(天狗相模坊)	味方 玄	
ツレ(小天狗)	観世 淳夫	
ワキ(西行法師)	森野好成 宝生 常三	
アイ(番の衆)	高田 洋海	
笛	杉 市和	
小鼓	田邊 恭資	
大鼓	原岡 一之	
太鼓	小寺真佐人	
後見	清水 寛二 大江 信行	
	梅田 嘉宏	
地謡	観世純之丞 観世 喜正	
	古橋 正邦 分林 道治	
	坂 真太郎 谷本 健吾	
	安藤 貴康 小早川泰輝	



片山九郎右衛門
かたやまきゅうろえもん
シテ方観世流。片山由雪の長男として生まれる。幼少より父に師事し、後に八世観世純之丞に教えを受ける。国内外の公演に多数出演するほか、能の検本の制作など能楽の普及活動も手掛ける。2003年文化庁芸術祭新人賞ほか受賞多数。重要無形文化財総合認定保持者。



西野春雄
にしのはるお
能楽研究者。法政大学名誉教授。復曲や新作などにも力を注ぎ、復曲「当頼幕頭」や新作「ジャンス・ダルク」などの能本作成を担当。著書に「岩波講座 能・狂言 III」(共著)、「謡曲百番」(編纂)など多数。2021年瑞宝中授章受章。